

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第8回高松市創造都市推進懇談会（U40／第3期）
開催日時	平成30年7月27日（金） 18時30分～20時40分
開催場所	高松市役所13階 大会議室
議 題	（1）高松市創造都市推進ビジョンの取組状況等について （2）来年度の方針について （3）その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	徳倉会長、坂口副会長、桑村委員、児島委員、笹川委員、田中司委員、谷委員、瑞田委員、眞鍋委員、宮井委員
市職員	藤本、小瀧、末澤、森、住吉、美濃、本条
事務局	西岡課長、佐野補佐、三浦係長、松下
傍聴者	1 人           （定員 5 人）
担当課および連絡先	産業振興課 創造産業係 839-2411

### 審議経過及び審議結果

1 開会

（事務局から開会の挨拶）

2 議題（1）高松市創造都市推進ビジョンの取組状況等について

【会長】

今日は座ったままで失礼いたします。4つのプロジェクトかなり進めていただきまして、あとで少しずつお話しいただきますけども、特に情報発信チームであったり、パラの皆さんも、どっちかという先行逃げ切り型なので、やっていただかないといけないという事で、また後半最後の方で、来期の検討という事でここがネックになったのかというところと、こうあったら良かったというところとちょっと伺いたいというところで、ちょっとそれをイメージをしていただいて、各リーダー特におふたりよろしくお願ひします。今日含めてあと2回あります。このU40の会期で、我々全員の任期が11月末までで、今日と10月若しくは11月の頭ぐらいにもう一度あっておしまいという事になりますので今日はどちらかという様々なお話であったり、来年度の方針を皆さんでちょっと協議をしたりということになりますので、ぜひ皆さんからさまざまな御意見をいただきたいと思ひますのでよろしくお願ひをいたします。

では、まず最初に、事務局の方から「高松市創造都市推進ビジョンの取組状況

## 審議経過及び審議結果

ついて」御説明をお願いいたします。

(事務局から「高松市創造都市推進ビジョンの取組状況等について」について説明)

【会長】

ありがとうございました。ここまでの説明で皆さんの方から何か御設問等ございますでしょうか。審議会の手ごたえどうでしたか。

【委員】

興味は持っていただいた。あと、私はこの会しか知らないのですが、この懇談会の上層の会が、どんな雰囲気か知らなくて、気軽な気持ちで行ったんじゃないんですけど、カジュアルに聞いてもらおうって気持ちで行ったら、すごい緊張感の中で緊張が走ったんです。ただ、色んな分野の方がいっぱいいたので、ほんとにクリエイティブな時間の中で、他にやっていることも興味をもってもらったと思います。以上です。

### 3 議題（2）来年度の方針について

【会長】

ありがとうございました。他にございますか。それでは、ここからどんどんコアな話になっていきますが、来年度の方針について事務局からまず御説明をいただきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

(事務局から「来年度の方針について」について説明)

【会長】

ありがとうございました。少し整理をしますと、11月末に今このいるメンバーでのU40の第3期は終了するんですね。で、第4期がスタートしていくと。この中で4年経った人は抜けていく。で、やっぱりそういう中で、まず一つ押さえないといけないのはU40というのは、事業をやる集団ではなくて、若い人の意見を聴くっていうのが大前提なんです。だからその聞くだけでは、意味がないというのが1期・2期を踏まえてじゃあ3期をどうしていくのかというところで、任意団体のupTAKAMATSUを作って、そこで今回の場合、今年の場合だと補助金を500万円いただいてその事業を進めていくという流れなんです。で、ここひとつポイントになってくるのが、じゃあたとえばハッシュタグ#upTAKというのが出来て、モニュメントが出来てきたと、でももうこのままほったらかしで、来年たとえば予算がつかなければ動かす事が出来ないの、どこかにずっと据え置かれてしまって、そのままたとえば1年を過ごすっていう可能性もゼロではない。ただこの4つの事業がある中で、それぞれ担当課、建付け一番最初がU40という中から発生して、産業振興課の中から予算取りをしていただいてなんだけれども、例えば#upTAKであれば、広聴広報課と話をしたりだとか、仕事のとこだと政策の方をお願いをしていくだとか、例えば、地図をもっとブラッシュ

アップしていくというところであるならば、スポンサーにお願いするだとか。という事もいわゆる今日、出来ればそういう議論をしながら、4つの事業をそのまま継続、一部継続したいだとかなかしらの形が残すという可能性も否定はしていないという大前提にして、まずこれから話をしていきたいと思っています。で、基本的には、2年で、今事務局の提案というのは、2年で一つの成果ということであるならば、では実質12月から新しいメンバーになってじゃあ来年度の予算要求でどういう活動をしたいのか、ていうのをまた我々、昨年あたり半年ぐらいで作りに上げて予算要求をして、年度で言うと、2020年オリンピックの年に、何かしらの事業を2つなのか3つなのかわからないですけども、をやるのが良いんじゃないかというのが今事務局の御提案です。その辺についてまず皆さんの御意見をいただきたいと、で当然抜けられる方もいらっしゃるし、続く方もいらっしゃるしで、いろいろあるんですけど、検証もしないといけないわけです。これが上手くいったのか上手くいってないのかということも検証しないといけないんですけど、この検証に関しては、今期のことなので今期のメンバーで終わらせた方がいいと思っています。どういう仕組みの方法でやっていくのかっていうのが、すごく大事なので。

【副会長】

これで分からなかったのは、議論して予算要求するまでに来年の11月に予算要求をするんですか。そこまでの間に何度かU40を開催して今後、第4期でどうするか決めるという感じなんですかね。31年度の部分が年間5回程度の会議を、具体的に何をスケジュールがよく分からなかったんですけど。

【事務局】

御質問につきましては、2020年度に、何かしらの事業をやりたいと。予算を伴うというプロジェクトをやりたいといった場合、その前の年度の2019年度の11月末が予算要求の最終の締めになるんですが、その前段の8月の下旬に、いわゆるまちづくり戦略計画という仕組みがございまして、そこに翌年度の2020年度にこういったことがしたいという粗を決めておかないといけないという事になります。第4期が今年の12月がスタートといたしまして、2019年の8月までに粗は決めておかないといけないということにはなります。

【副会長】

分かりました。私は第2期からずっと継続で、その時に散々揉めてたというか会議がずっと紛糾していた部分は、多分U40の最初の立ち上げというか本質的な部分で多分若い人たちから意見をもらうっていう部分がベースだったんだと思うんで、そことの擦れ違いがありました。委員さん皆さんは割と意見を出すだけの会議になんで集まって何の意味があるの、最後プレゼンして終わり、何も意味ないじゃんっていう意見がかなり出てきて、かなり紛糾していて辞められる委員も多かったんですね。なので私はここで第3期で終わりますけど、ぜひとも議論して終わりだけのU40にだけはしていただきたいくない。大前提として多分、市役所さんのU40の建付けが意見をもらうっていうので立ち上げてるので、重々承知しているんですけど、民間から関わる以上は、出来ればそこで意見出して終わり。形だけこうビジョン作りましたよっていう意見皆さんの意見が反映されまし

たよっていう会にすることは、正直意味ないなと思ってます。今回は、会長を始め予算要求してこうやって具体的に物事が動いていることをすごく良かったなあと考えていて、で、まあ新たに4期から入ってくるメンバーもいるので一度そこから議論し直して何かこう物事を具体的に物事を動かしていくっていう、で継続していくものは継続していったらいいし、そうじゃないものはこう新たに意見を聴きながら進めていくのが良いのかなと思いました。

#### 【会長】

古い人先行きますから。これが失敗したあれが失敗したここがまずかったってというのが僕は個別にヒアリングで聞いているわけですよ。それと同じ地雷を踏まないように、っていうマネジメントをして今こういう風にしてるんで、建付けがこうだからと言ってそれを自然に戻すとおそらく終わるんですよ。

#### 【市役所U40】

自分は市役所U40の立場から言わせていただきますと、自分4年目でそもそも市役所の人立場って結構すごいふわっとしてて、何をするために来てるのか、意見を聴くのかそれともこういう人たちと自分の課とか他の課のものをつないだり、意見を持って帰ってそれをバックアップするためにいる存在なのか。どっちなのかがはっきりしないところがあって、皆さんと同じ立場ではないだろうなっていう凄いふわっとしたイメージでずっといました。で4年間いて、そもそも4年生ではないんですね市役所U40はそもそも。1年ごとの更新みたいな感じで来てるので自分は毎年行きますっていう話をしてる感じかなっていう。そもそもこれ以降も4年経ったから卒業って扱いになるのか分かってないですし、今後の取扱いもどうなっていくのかなっていうものがもうちょっとははっきりすれば、他の参加している市役所の人たちも参加しやすいでしょうし、意見も言いやすいでしょうし、あとやる気も出るでしょうし。多分来る人が次々減っていく市役所U40の人。次々減っていくのは忙しいなってみんな忙しいんですよ。そんな関係ないじゃないですかU40に来る来ないって。それはあくまで忙しいって言い分けつけて、こういうところに来ないように余分な仕事だとやってるだけなので、そういうんじゃないかってもっと自発的に動けるような環境づくりが大事なのかなと思います。

#### 【事務局】

市役所のU40につきましては、U40が第3期・4期など期が変わるときに、市役所の庁内向けにインフォギャラリーを出しましてU40入ってみませんかという募集を行う形をとっております。で、随時ですね、途中で加入することもあるんですけど、一応流れとしては期が変わるときに募集をかけてメンバーを決める。あの位置付けにつきましては、これは市役所の研修という位置付けで来ていただいております。

#### 【会長】

その辺は研修なんだということであるならば、もうちょっとこうきちっとアナウンスして、その辺の位置付けをきちっと、ある程度のそのモチベーションというか、研修という位置付けでやってるんですよ、年間3回5回やってるんです

よ、その位置づけは本人含め、やっぱりもうちょっと周知いただく必要があるのかな。やっぱり市役所側の来なくなった人っていうのは明らかに誰が来てないっていうのははっきりしてきているところがあったので、その辺はきちんと押さえていく必要がある。官民一緒にやっているっていうスタイルならば、それは一つ大事なのかな。

【委員】

私も同じような意見なんですけども、ある程度は考えれば目標であったりターゲットみたいなものが設定していただけるとやりやすいのかなと思ったり。あと創造都市推進ビジョンを作られたかと思うんですけど、来年以降はある程度それに沿った形で進められる感じなのか、それともU40はそれを超えた発想を求められているのでしょうか？

【事務局】

今後の大きな流れといたしましては、昨年度ビジョンを作りましたので通常PDCAというものがあります。Plan・Do・Check・Actionという中で、チェック機能というのを進行管理という面で、創造都市推進局がやった取組に対して実績報告をさせていただいて、それに関して御意見をいただくという事は進めていきたい。これは懇談会及び審議会でもさせていただきたいなと考えております。あとそれ以外のところにつきましては、例えば第4期の一番最初の1回目2回目のところでどのようなことをやりたいか、どのような進め方をしたいかを議論、協議して市の方針もお伝えして決めていきたい。割と柔軟に対応はしたいなと考えております。以上です。

【会長】

ズバッというあんまりそこ考えてなかったという事ですね。駄目だって意味じゃないですよ、作ってそれからどうするのか、割とこの懇談会って市の中の委員会でもイレギュラーだと思うので、存在というかやってること。なのでそこはあると思うんですけど、やっぱりビジョンは大事にしながらそのPDCAでいうとDoがどこにあって、CheckとActionていうのが、なにがDoでなにがCheckでなにがActionになるのかっていうのはある程度それは、第4期になるタイミングの時、またそこは事務局の案の中で、定義としてDoはできているのでCのCheckをしてほしいんだと、ActionこういうタイミングでやってほしいんだというのがあるとほんとのPDCAサイクルになっていくと思う。それは今良い御意見をいただいたので。もっと何かありますか、良かった点と悪かった点とどういう風にしたら良いのか。

【委員】

今まさしく工芸ウィークに向けて、例えば観光だったりとか情報発信だったりとかいろんな分野の他にも商業施設だったりとか文化振興系の施設だったりとか話をしていて、言ってみれば横断的にいろんな人をつなげて工芸ウィークを作ろうとしてるんですね。これが本来は創造都市推進懇談会がやらなければいけないことなんです。縦割りの課ではない創造都市推進局という場所があるからこそ、出来るでしょってことだと思うんですよね。で、多分局内の人だけでそ

れをやっていたんでは、やっぱりどうしたって縦割りの中から出られないことがあると思うんですね。工芸に関して言えば、産業振興課さんと一緒に伝統的ものづくり審議会というものをやってまして、それは伝統的なものづくりの産業の人たちと振興の施策を考えましょうというのをやって、それもどんどん予算が目減りして行って、U40に計画をあげてったという経緯があるので、この場で工芸がぼしょってしまったら産業振興の方でもぼしょるのでこれは困るんですね、だから継続してほしいという気持ちはあるし、で何より先ほど言ったように創造都市推進局っていうものをフィールドを色んな分野の人を一所に集めているんなアイデアを出しましょうっていうこの感じは残してもらわないと、それこそ事務局自体も何のためにやってるんだろうと迷うところだと思うんですね。こういうことをするためにやってるんだよ、結果としてハッシュタグ「#upTAK」だとかが出来ていったっていうのがあるので、ぜひ頑張って予算はおろしてほしいし、頑張って事務局の人は踏ん張っていただきたいし、次の期に対しても、なるべく継続も含めた、ブラッシュアップでも全然いいと思うんですけど、継続をしてほしいと思います。

#### 【市役所U40】

私も4年なんですよ。入った時、私は伝統工芸の分野をやっていてそれこそ目減りしていく予算をずっとやってきた中でこうやってU40の中で形になって良かったなっていうのが今年の印象。結局U40のメンバーの皆さんになんかこうお願い事が行くことが多くなったっていうのは、その第2期の時になんかいっぱい市役所の中で困ってることないですかっていう課題抽出をする時間があつたと思うんですけど、その時になかなか原課からは課題ってすぐには出てこなかったんだけど、結局U40の皆さんがいることを知ってなんだかんだ政策課さんがお願いすることがあつたりとか広報がお願いすることがあつたりとかなんかそういうのが増えていったっていうのは結局市にとって良かったことだと思うし、課題が出せるような環境になったのかなって思ってるんです。じゃあ次の4期の時にもう一回何かやりたいことありませんか、みたいなことになった時にじゃあ市役所で困ってることないのって、またその繰り返しにならないかっていうのが一点不安があるなっていうのがお話を聞いてて思ったことが一つです。

#### 【会長】

その困りごとを市の各部門がこれを受けて、その時は打ち返してるんですか。困りごとに対して、アイデアを出してそれでおしまいなのか。

#### 【市役所U40】

とか、こういう壁があつて出来ないんだよねってなつておしまいだつたりとか、なんかその打ち返しが深掘りできなかつたっていうのも、もちろんあると思うんですけど、それが結局予算がないことだつたりとか事業にできないっていう壁があつてなんかこう止まったのかなっていう気もするし、なんかそこだけはちょっと上滑り感でずっといつってしまったのかなと。そこがみんな、今日の会なんだったんだろうって思う一つの要因ではあつたと思うんですね。

#### 【副会長】

担当の人呼んで話聞いたりだとか、結局なんかどうだったんだろうって。

【委員】

何年か前にぼしゃって来たことを蒸し返した形になって、こんなん出来ないでしょはい終わりみたいな。

【市役所U40】

課題になったことが蓄積されないままずっと進んできてるところがあるから、それがその課題になったことをちゃんとこう原課でも蓄積するしこの委員会でも蓄積するって形にしないと、結局は右肩上がりにも何もならないんだろうなっていうのは4年やってて思うことが一つと。あと結構こう皆さんとやってる中でやっぱり何かを生み出すときってすごい苦しいというか、今回の仕事PJも結構考える時間が多い分、苦しい時間も多くて、でそういう時間でけっこう苦しい時間が多いからなんかこう会議とか楽しみがなくなった部分があるのかなと思ってそれと実行できるバランスって結構大事なんだろうな一つは思うんです。あともう1点、市役所メンバーが来なくなった理由ってというのが、やっぱりこの事業になった時にどうしてもボランティアでっていうところがあって、何をボランティアでやったらいいのかっていうのが分かんないまま進んできたっていうのももちろんちょっと私の中でもあって。私は今伝統工芸から就労支援の方に移ったからあえてこのプロジェクトを選んだんだけど、仕事と関係してできないっていうちょっと中途半端なところがあってそこらへんが、割り切れきれなかったり、どんなお手伝いが出来るのかなって自分の中でこう悩ましいところがあったんですけど、仕事PJ事業はなにぶん人が少ない分とりあえずやらないといけないので、まあこの考えてるときは苦しくてとりあえずみんなが集まって言い合いして今日は良かったって終わることが多いからやれてるのかなっていう感じがしています。

【会長】

ちょっと各リーダーに伺いたいんですけど、情報発信チームは今一番進捗で言う一回ゴールテープは切ってると思うので、言いたいことがあると思うんです。もっと例えばこれはその来期以降に含めたり、これからまた本格的にスタートするところもあるので情報発信チームなりに苦労したこととか上手くいったこととか、どういう風な連携取れたらええのとか。さっき言ったここの課だけで終わらないじゃないですか。広報も。そういうところも含めて気づくことがあれば。簡単に。

【委員】

そうですね、一番困ったことは予算を、これは僕の設計が甘かったっていうところもあるんですけど予算としておいてでも、やっぱりモニュメント出来た後にじゃあやはり規定を作らないといけないとか、保険かけないといけないとかもっと言うなら自分が想定していた以上にかなり人を使ってしまったので、予算が全く足りない状況になってしまったので、その時の出所がないので予算としては何かあった時用の予備予算はやっぱり取っておかないと、やっぱ想定してないことが結構あるなあとと思ったので、そうか、もう少し予算設計するときにちゃんと考え

ておくべきだったなあと思いました。具体的に言うとさっき言ったことがモニュメントのチームだといろいろ足りてなかったなあというところ。あと先ほどの意見の中で、僕もかなり困ったことで市役所の方が今ボランティア扱いになってるんですけど、かなり今回手伝ってもらった方がいらっしゃるんです。見えないうところでやり取りも相当してますし、車もずっと出してもらったりとかボランティアでやってもらってる分には申し訳ないなっていう作業内容になってしまったので、そういう市役所の方のボランティアっていう扱いをどこまでボランティア、立場的に難しいと思うんですけど、だんだんやっぱり頼みづらくなる。いやな顔はされなかったんですけど。リーダーからは頼みづらくなってしまいうないうところまでいったので、ちょっと市の人に積極的に関わってもらわないといけない部分もたくさんあるんですけど、ボランティアっていう立場でいいのかなっていうのは思いました。悪かったことばかりになるので良かったことを最後に。良かったことは完成の発表会して当日参加してくれた人がいろいろ拡散してくれたりとかメディアの人呼んでとか、メンバーの知り合い情報発信のところから雑誌とかのインタビューとかが入ったりとか、いろいろとこうあれが終わった時にU40ってどういう活動なの、とかなんか盛り上がったよねっていうのはすごい周りの人から言われたので、苦しかったんですけどやっぱりやって良かったんだなあと思いました。以上です。

#### 【委員】

まだ終わってないというか、あとちょっとであと一息でリリースできるんですけど、私の方から3つあってまず一つ目が、私たちのマップチームはスポーツ振興課とあと障がい福祉課というところを情報共有したりとか、逆に情報拡散してくださいとかキャッチアップしてくださいとかあって、正直凄い今はあの産業振興課の皆さんに入ってもらってバランスが取れてきたんですけど、最初はずみません言葉を選ばないで言うすごいストレスだったんですよ。私たちとして市役所としてというかU40としていうとなんかすごい動きづらいとかかなんかこうもどかしいとかかなんかそういうところがたくさんあって、どういう風に動いたらいいかわからないし、逆によしじゃあと動いた瞬間になんかこう怒られるっていうことが起きたりしていて、私としてはすごくなんか市役所として動いていくとか対市役所の人とお仕事のじゃないところで動いていくことの大変さとか、境界線の作りづらさとか今日も呼ばれてしゃべって終わったなあみたいなの、それで離されたなあみたいなのところがすごい多かったんで、それが自分にとってすごくストレスだったっていうのがあります。で、その後に産業振興課の方に中に入っていて、すごくスムーズにとかかなんかこの情報はブロックしてほしいとかちょっと守ってほしいとかその部分がサポートしていただいたので私としてはすごく良かったです。ただやっぱり何かこうやっぱ事業者として入ったら別だったと思うんですけど、こうやって中に入っていくってこんなに大変なことだと思わなかったんで、すごく色々な意味で勉強になりました。2つ目が、私のところのチームが市役所の方がたくさんいて、他の方もおっしゃるとおりすごく動いてもらってる場所もすごくあって申し訳ないなあってすごいその部分ってちょっとなあと思うところもすごくあって。で、ただ私のチームのメンバーは市役所の方もそうじゃない方も多いんですけど、メンバーにすごく恵まれてすごくやりやすい中でやらせていただいているんですけど、ただや

っぱり私は呼ばれてしゃべって帰ってなんか職員ばりに今日いるなという時があるんですけどやっぱり市の職員ではないので、中の細かい規定とか情報とかそれってこうだからとか言われても分からない部分がすごくたくさんあって、そのルー尔的なものとかで、それを結構いい形で色んな課に全員が同じ課じゃうちはなかったっていうのもあって、色んな課からこういうちょっと聞いてよみたいなのというサポートというか一緒に動いていたなっていうところはすごくあります。で、最後なんですけど、私たちスポーツチームとして9月1日・2日というところが山場というか、そこに向けてやってるんですけど、まあその後も引き続きというかあとはスポーツ振興課さんとかあとは政策課さんがユニバーサルデザイン推進室というのがあるので、そこからもよろしくお願ひしますという事を言われてるんですけど何をよろしくするのかちょっとまだ分からず、だからその関係性っていうのははっきりしていきたいっていうのか、どの程度のよろしく加減っていうのが。

#### 【会長】

よろしくっていったときはお金も一緒に持って来いよって言った方がいいよ。よろしくイコールお金をつける。

#### 【委員】

そのこの部分のどこもかしこもこれからパラのパラ陸以外にオリパラの迎えるっていうのをやっているんですけど、よろしくお願ひしますってどこもかしこも言われるんですけど、U40としてよろしくなのか、個人としてよろしくなのかそこを明確にすると、動きやすかったりだとか、それはノーですだとか言えるのかなと思うので、そことがちょっと最初からこれからももやもやしそうなので明確にしていけたらもっと仲良くなれると思います。以上です。

#### 【副会長】

なんでああいう情報はこっちに行っていかなかったのか不思議なぐらい割と近くにいるはずだし、創造都市の枠組みの中にいる観光交流課の情報がなぜかこっちに行かないみたいな。その辺が今後上手くいくと良いかな。フェイスブックページもあるので小出しになるべく情報共有をこまめにして挙げると良いのかなと思いました。

#### 【委員】

仕事チームは、正に今から始まるぐらいのところ、今までがずっと構想案とか企画案を練ってきたて、で、多分お盆前ぐらいに実際にメディア含めて情報発信していくぐらいのスタート感で、フェイスブックでも共有しましたけど11月の3連休を使って2泊3日でプロジェクトをするのと、そのプロジェクトをやった後に最終的な報告会っていうのは、12月ぐらいに予定しているので、ちょっとほかのチームより遅くなってきているので、まだどうでしたかといえる反省を言える段階にはなかなかないんですけども、私らのチームは実質ほぼ4人体制で動いて行って、この私以外の3人の方には、多分全チームの中で一番負荷をかけてるチームだろうなあとと思っているので、他の委員さんがおっしゃってた市役所の人たちがボランティアでいいのかなっていうのは、リーダーとしてすごく思う

部分ではあるので、来期4期やるときにはそのあたりのルールとかっていうのは、上手く市役所の人が噛んでくれるようなルールがもし市の中で作っていただけるのならばいいのかなっていうのは私も同じく感じるところです。これも重なっては来るんですけども、私らの事業で言うと多分絡みが大きいのは政策課さんとの絡みが大きい部分があって、その情報共有っていうのを、それは市として、していくのかどこにしていくのか同じように明確にされた方がいいんじゃないかなって感覚はありました。今年政策課さんがやられている事業と私のやっている事業が似てる部分もあるものを抱えているところがあって、結局その似てる2つの事業を私が両方とも広報するとかってことになってくるので、なんかそれやったら政策課の事業とまとめようと思えばまとめられる部分があったりするんで、そうになったらそのあたりの情報をとるところっていうのは、他の委員がおっしゃってたとおりで、なかなか内部に入らないと分からない部分も大きかったんで、その体制は次4期に入るに当たって何かしらの意思疎通のはかりだとか上手くしていけたらより良いものになっていくんじゃないかって感覚は、私は持ちました。あとは良かった点としては、ここに御参加の皆さんお感じだと思うんですけど、今回3期が第1期・第2期の人話を聞いて、この第3期よく回ってるよねって話をしてもらうことがあるんですけど、一番大きいのはやっぱり会長がどれだけ上手くコーディネートしてくれてるのかってものすごく大きいと思うんですけど、あのこれをちゃんとただ単に話を聞くってところよりも、プラスアルファやっていくぞっていうのもそうだし、目的してやっていくぞこういう風にいつまでにこうやってこのタイミングでこれをしますよってちゃんとスパン作って話を進めてくださってるってところがものすごく大きい。これは多分第3期一番の成果は会長がこうやって回してくれていることが一番大きいんじゃないかなと思ってるんですけど、だから第4期にやっていくに当たっては、やっぱりそういう形で確実にそのこういった多様な人がこの場において、かつコントロールがすごく難しいフリーハンドル何やってもいいよっていう形になってくものなので、それはおそらく4期に現会長がリーダーになるのかは知らないんですけど、それは分かんないんですけど、やっぱりそこでこういうコーディネートをちゃんとやれるっていう人がチームの柱になっていかないと、多分話がまとまっていかないうらなって感じがすごくあるなあというの、私もこういう場づくりみたいなことをしてる人間なので、よく思うんですけど。なので第4期をやっていくに当たっては、もちろん市としてのお考えもあるし、今回会長以上にリーダーの方とどういう事業内容を作っていくのかって話を明確にされていくって必要があるんじゃないかなって気がしてます。私、この第3期にこういった形でこういうことをやれたのは良かったなって思ってるんですけど、第4期がどうやっていくのかっていうところは、今回以上のコミュニケーションは必要になってくるのかな。その3つですかね。その市役所の方の関わり方っていうのが1点と、他の部署市役所の中での縦割りじゃない横串を指しながらっていう連携の話と、後は第4期の音頭の取り方っていうのをどのようにやっていくのかっていうところが上手くやってくれば、うまく第4期がより良いものになっていくんじゃないかと思ってるということです。

【委員】

もっと他の人入ってきてくれんかなーって感じはしました。ただ皆さんに一言

お伝えしたいのは、今回工芸ウィークをやるのに市内のお店の人とかに話をしに行ってるんです。でこれを事業やるのはU40って言いまして、ハッシュタグ「#upTAK」でおなじみみたいな説明をしていくと、U40なら知ってるわって人がまあまあいるんですね。市の事業なんやねって話になってその時に普段そういう民間のお店同士は私も含めて仲が良いわけがないんですよ。手をつなぐことなんて絶対しないです、本来なら。でも、それはせないかんことやねって皆が腹割って話してくれるんで、民間では絶対できないんですよこれはね、やっぱりライバル同士なんで。それはぜひ継続してほしいなっていう理由の一つであります。以上です。

#### 【委員】

非常に難しいですね。特に私のチームに関しては、リーダーが率先して音頭をとっていただいて、逆に私としては逆に力をあまり発揮できなくて申し訳なかったなってところがあって、だからその同じ委員の中でもその抱えているもののウェイトがちょっとバランスアンバランスがあってですね、逆に携われてないというかリーダーの線引きによって下が楽させていただいている部分があるんですけども、その楽しってる人たちの中でも実はほんとにもっとスキルがあったりだからその辺のこう生かしきれてないところと、うまく我々のところとかほんとに人数が多くて、少ないチームとほんとにこうウェイトのアンバランスがあってですね、ちょっとそういうところではこれだけスキルのある多彩な人たちが集まっている中ではちょっとこう生かしきれてない部分も若干あったりしてもったいないなって結果的です。もうこれ進んできた途中では、皆気づかないんですけど今となってみれば、やっぱりこう有り余った力をじゃあなにかのところっていうこともできたんじゃないか。そういうところを踏まえて第4期に関してはこういうちょっとパワーバランス、っていうのをもう少し意識しながら回していければなっていうのは思いました。

#### 【会長】

これやりたいところに集まっていったんですよ、確か。それが果たしていいのか。

#### 【委員】

今回、高松市、まあスポーツ振興課であったりだとかがパラの陸上競技連盟が主催をする大会で、こういったU40の中で、マップ作りとかいろんなことをやってくださっている。非常に選手としてはうれしい限りであって、大会に行ったらそういう情報がないのでいつも自分たちで調べる。その各選手250人いたとして250人同じ作業をするのであれば、一つそのマップがあってURLがあってそこに飛んだら見れるっていう今回始めてな良いことだったんだと思うんですけど。スポーツ振興課であったりパラ陸上競技連盟であったりはその仕事だと思うので、この大会にも29年30年前にも開催されてる中でどうしてそういうところが出来てなかったのかなというところもすごくあって、で今回に関してマップ以外にももっと色んなことを皆さんの力をお借りして出来ればいいなっていうところはあったんですけど、どうしてもボランティアっていうところがすごく頭にあって、依頼というか色んな事やりたかったんですけどもう気づいたら一ケ

月前になっているのですごくこうボランティアではなく、ちゃんとお金は発生して出来ればよかったなっていうところはすごくあります。

#### 【市役所U40】

ボランティアかどうかっていうと、その市役所のメンバーが好きでしてるかどうかの話であって、話が出てなるほどなと思ったのは、研修という位置付けから行くと自分の仕事以外のところで他の方々と一緒に何かを作っていくところをトータルで研修とみなすんだったら別にそこはそんなに気にしないでいいのかなって、私個人としては思います。ただ言われた通り、そうは言いながら休日にいっしょに動くってことに関しては、こちらもお金が発生しているものではなくてその upTAKAMATSU の方から、その分を支給するっていうのであれば、その民間の方に支給するんでしょうけど、その額が十分な額が行ってるかというところではないでしょうし、その意味ではそんなに差がないのかな。この会議に関しても皆さんが謝金が出るのと同量とは言わないですけども、我々も時間外という形でもらってますんで、そこの部分は一緒なのかなっていう風に思いますんで。でどちらかといえば私、高松市創造都市推進懇談会、この懇談会自体の位置付けが未だに疑問な所があって、結局何のために存在してる会なんだろうっていうところがずっとすっきりはしないんです。色んな若い人の意見を聴きたいっていう部分があって立ち上がりました。で今まで聞いてきて実際に実現しないものが多かった。多分そうだと思うんです。今おそらくそうは言いながら、皆さん個別には意見を聴かれてるんだと思うんです。で、それはU40だから聞かれてるのか、この分野で売れているこの人だから聞かれてるのかっていうところがあって、ここに私は特に創造都市推進局ではなくて、全然、もっと実務の事業課の部署なのでその部署の人間からすると皆さんのところにそういう質問が行ってることも全然把握もしてないですし、もっというとU40の存在自体を知ってる人の方が少ないと思います。なので当然、隣の課であつたって意見が来ないっていうのもざらにある話でしょうし、我々みたいな全然違う部局になってくると存在すら知らない可能性もあるのかなあと思います。とは言いながら事業しながら若い人の意見を知りたいなと思う時もあるんです。色んな意見があちこちから来るんですけど我々はそうではないような気がすると思いつつ、じゃあ今の人に聞く機会があるかというとなかなかないというようなものもあるんで。このU40という仕組みをもうちょっと上手に使ってもらったらいいのかなと思ってまして。私は入る前から言ってた、結局、創造都市推進局の中だけで、小っちゃい中で言ったら内々でやっているだけじゃないのかっていうところが端から見てる時に思ってるところがあって、だからこその他の部局の人間が入ってるのか、その存在を他に広げていかないと内々の会なのかなっていう風に見えてますよっていうところがずっと感じてたところでありました。で、あと色んな意見を言ってなかなか立ち上がらないとか、実現しないというところは高松市役所の全国もそうなんですけど、予算の成り立ちっていうところがあって、この事業にこのお金を使いますっていうのが決まってその額の中でしなさいという話なので、他の事業のお金をそこに持ってくるってなかなか難しい。やろうと思ったらできるんですけど。なかなか難しい話あるっていうのが一つがあって。この今年度もそうですけど、まち戦に載せません、言ったら企画書を立てます。で、企画書が通ったら予算要求しますと。2次予算っていういわゆる変動費に当たる分ですけど変動費の要求しま

す。そこでカットされたらカットされた額でやってくださいってなるんです。で、当然足んないって話が出てきたり、たとえばさっきの食器の分でも、そういう食器を使いたいって話が来たところでそこでいいなと思っても市の全体の中で見たらそこに予算は回せませんってなったらそこで終わりになるんですね。で、たまたまその部署にいるだけの人間っていう可能性もあるんでそこにどんだけの思いがあるんやって話もあるんで、好きなことには当然みんな一生懸命出来るんです。皆さん仕事で好きな仕事をしてると一生懸命出来るんですけど、そうじゃない仕事をしてる人はそうではない世界があるので、それは人なんでしょうがないと思うんですけれど。その部分が結果につながってない部分があって当然フラストレーション皆さん溜まるっていう話になってきたのかなって思います。だからもうちょっと、逆に言うと我々が持っている事業があって、今こんな感じでしてるんだけど傍から見るとこれ良くないよってというのがあれば、逆にこちら側からリスト見ながらこれに関わっていきたくてかかっていう風なやり方が一つ。その委員の皆さんの方で見てもらって例えば高松まつりの数がこの数じゃダメだと思うって話であれば、高松まつりに関わらせてくれるという形で入っていくのも一つなのかなと。多分、なんか教えてくださいって来ても、さっき言ったようになんか聞きたいことがありますかって言ってもみんなそんなに反応が返ってこんっていうところがあると思うんで、逆にこっちから押しかけていくっていうのも一つのやり方かなとは思いますが。

【市役所U40】

高松まつりもありましたよね、実行委員会にはねられた。

【副会長】

屋台みたいなのもうやめようって、的屋廃止みたいなのを提案して。

【市役所U40】

取敢えず、この懇談会の位置付けが、ほんという事業してるっていう事態も非常に疑問に思ってます。正直言うと。なぜ upTAKAMATSU に予算をつけて事業をやってるんだと。私も事業課の係長で事業持ってますから、非常に不思議でしょうがない。なんでこれに予算が付くんだろうと思ってるというのはあります。それを作ってきたっていうのは立派なんですよ。なんでなのとは思いますが。

【会長】

第1期と第2期はそれで空中分解してた。

【市役所U40】

その経緯も聞いてその話も分かって、そのやり方が正解だったのかなってというのが正直思ってるんですよっていう。例えば政策課で事業してますよとこの政策課の予算に対して委員が関わってその後良くしていくっていう形は一つあり得るのかなと思うんですけど。言ったら何の根拠もないというか、競争もない中でこの委員の団体に出していくっていうこと自体が、非常にこの疑問があるというかいう話は思ってる場所なんです。我々も同じように予算要求してカット

される立場ですので、必要なものに出しててもそれこそいわゆる1次の固定費すらカットされる世界にいますので、ちょっと不思議には思っています。これも全額通っていないのは知ってるんですけど、私も思ってるっていうのがある話。何が言いたいかというと結局懇談会の立場がよく分からない、この第3期がこの懇談会というのが何のためにしているんだとうとよく分からないというところのまままでしてきているから、この第3期をしていったときに果たしてこの懇談会というのは何のために存在しているんだろうというところは、位置付けをきっちり。それはむしろ作っていった側なんで、申し訳ないんですけど事務局側で位置付けを決めてあげないと、何のために集められてるのか分からない。それだったらupTAKAMATSUという団体だけが残ってそちらが事業をしていったっていいんじゃないかなという風に思うというところなんです。で、そこにいろいろ意見を聴けばいいだけじゃないのかという風に思ってくるかなと思っています。

【会長】

U40を止めて、upTAKを残す。

【市役所U40】

で、いいんじゃないのかなって、この形であればですよ。っていうのも一つの案として出るのかなっていうところで、どれが正解か僕も分からないしゃべりながら色々言ってますけど。

【会長】

ありがとうございます。良い視点が出たんでここで一旦。ちょっと今いい御意見が出たので、凶らずも僕のことをいって言って下さった意見があったんですけど、僕この2年間どっちかというところかなり皆さんがどう思ったか分からないですがかなり強引にやりました。合意形成とるところはかなり丁寧にやりましたけど、手法としては、割とファシリートの手法にしても事業を進めていく形としても結構強引な手法をとりました。各リーダーとは根詰めて話をしたり、結構色々したりはしましたけど、そこまではしてるんですけど、なぜそうしたかというところ、第1期・第2期ではっきり言っておそらくですよ、これは僕の感覚で言うとこの懇談会としては失敗なんですよ。議事録として残してこういうことやりまして若い人から話聞きましたってのはそれはそうなんですけど、で実際その当事者たちがあれは良くなかったって言ってたら、それは広がっていくので、U40が終わるなと思ったので、私に関わるのであれば、小さいながらも何か成功体験を作らないといけないなと思って、じゃあそれと真逆のことしただけなんですよ。そうすると一番あったのは意見が出ただけで何もならなかったって言うのは、いや意見出すだけじゃなくて何かしらの予算をつけてもらって、少しでも何か実行してもらったら面白いことが出来るんじゃないかっていうことで、一番最初に言ったのは、予算がない中でもみんな知恵を出してやりましょう。99%ダメって言われても残りの1%の中で何か成功を残しましょうっていう話を僕1回目の時したと思うんですけど。ここからがすごく大事で、この同じ手法を僕は同じ立場で4期でやりたいかっていうところじゃないんですよ。すごく気を使って話さないといけないんですけど、僕が例えば、第4期も引き受けさせていただいて、会長が2年間終わったら、多分第5期は下手したら第1期・第2期みたいに

戻る。何もできなくなったね。っていうだけで終わるそれはなぜかという僕というパワーキャラがいたからなんですよ。出来れば出来ればですよ、出来れば今度の次の真の第4期はそのフレームを作る。こういうやり方がさっき皆さんが言われたU40というこの懇談会の必要性が市にも認められて、事業やるやらないもその辺でジャッジしながら、そのフレームがあれば、人がいなくなっても人に依らなくても出来る仕組みが出来れば、若い人の意見をこういう風に具現化する高松市が出来たよね。それが創造都市だよっていう。それを取りまとめているのが創造都市推進局だよっていうこのストーリーが出来るのは、僕の望みなんですよね。僕の望みっていうとちょっと変ですけど。なので同じような感じ、僕が同じようにファシリをして同じように取りまとめて同じようにマイルストーンやってっていうのはあんまり僕は僕個人としてはですよ、好ましくないと思っています。なのでその辺も踏まえて来期どうするかっていうのは、考えていけないといけない。そういう意味ではいやもうこの懇談会っていうのは、一つこれは話があるかもしれないし、それはupTAKでやってくださいっていう。じゃあupTAKみんながやり続けるのかっていうとそれは分からないので、何かしらの形は残さないといけないと思うんです。僕は一つ必要条件としては、U40という40歳以下の人たちの意見を聴いていくという事と、個人的にですよ、なぜ上手くいったかっていうと年齢はともかくとして市と民間の同じような年齢の人たちが、関わりあいながら物事を作っていったとか何かまとめていったってところが、一番ポイントやったと思うんですよ。それは意見を出し合うだけじゃなくて何か事業をしたっていうのが、やっぱりすごく分かりやすい。周りからもわかりやすい。いまupTAKで検索したらめっちゃ出てきますよ。あのPR効果ってすごくでかいと思うんですよ。これからもそのマップも、NHKさんから取材させてほしいとか。きっと工芸も仕事も同じような波及効果が出てくると思うんですよ。そういうことを総合的に考えたときに来年度今ある事業の中で、少ない額だけでもこういう維持して残していきながら、新しい第4期のフレームを作りながらこういう風な時間を持ちましょうみたいな。予算をとるのがありきで僕も話をしていないので、その辺はなんかこうちょっと考えたいなという僕の思いがありますっていうのを留めておいて現実的な話に戻しますが、じゃあ来期今やってる4つありますよね。モニュメント作りしました。工芸もほんとこのままほっといたら工芸なくなる可能性がいままでこういう風になってる。やっとならU40がこうなっているのどう維持するのかっていうのが大事だと思うし、たとえばその中で今回あれ700弱ぐらい要求して500でしかもド新規でないぐらい当然つけていただいているんですけど、その減らした部分でやっぱ苦労されてる部分も当然あるんですけど。とはいえじゃあモニュメントさっき言いましたけどどっかにほったらかしで置いて、良いのかって話も当然ある。U40でやっててなんか一年だけでやっただけかみたいなじゃあそれを維持するためには、いや60万あれば何とかありますよとか、やっぱり工芸を続けていくんでいくらいますよとか。で仕事の部分は政策課と局と政策課と話していただいいていやこういう風にやって今年の事例を使って来年もうちょっとこういう風な事が出来るんじゃないか。パラは一つこういう風にできたけども、これをそのままスポン振にお渡ししますとか福祉の方にお渡しするので、きちんとブラッシュアップしてくださいよっていう風にしてお譲りするか。そういうもうちょっとこういう譲り方があるなとかこういう残し方があるなっていうのをこれ僕らよりはやっぱり行政的な

判断がある方がいいので、一旦ちょっとお忙しいところ申し訳ないですけども揉んでいただきながら、僕は一定額の予備費っていう考え方が分からないですけど一定額の予算要求は無いといけないと思うんですけどどうでしょうか。

【事務局】

まああの今日はどうやっていう結論を出すのではなくて、色々皆さんの意見を聴きながら集約しながら、我々もちょっとほんとにこう決まりきったようなことではないので、我々も試行錯誤しながらほんとうこう考えてきてるところではあるので、今言われたようにせつかく今やっている事業をどういった形で残すか。ずっとやるのか、期限付きでするのかっていうところも含めてですね色々意見をもらいながら。当然どうしてもそのお金って必要というかやらんとどうしてもいるもんですからそれも色々我々も聞く中でどうしても必要っていうなら上げていくし、っていうところは考えてますんでですからその予備費っていうのがどういった形になるのか分からないですけどそれは一つ我々の考えとしてありますので。

【市役所U40】

去年の7月からなので1年くらいなんですけど。半年ぐらは何をやってる会なんだろうかって思いながら参加をしていました。で、情報発信チームにいたわけなんですけどあまり深く関われなかったなと思っていて。今皆さんのお話を伺っていて、仕事ができる人というか熱量を持って取り組んでいる人にかかなり負荷が集中していたんじゃないかなっていうのは感じています。なのでそれを上手く分散できるようにというか。

【委員】

私は逆に工芸チームに入っているんですけど、なかなか自分の立場からどういったお手伝いができるのかっていうところですし悩んでいて、なかなか今できていない状況になっています。なので多分そういったメンバーももしかしたら同じような気持ちのメンバーもいるのかなってずっと思ったりはしているんですけど、そういった方が次の第4期に最初は多分皆さん同じような気持ちで入ってくるとは思うんですけど、結果的にそういう風にならないように進められたらなって思いました。

【会長】

何が必要かとか何をしないといけないとか、どういう役割が必要なのかとかやっぱある程度見えないとダメだね。

【委員】

そうですね。だからそういうのが私もちょうとあんまり見えていなかったって言うのが反省点だったんですけど。なんかやりたいていう気持ちはあるんですけど。具体的に何が出来るのかっていうところまでが、なかなかこう通せてなか

ったなっというのがちょっと反省点であります。

【市役所U40】

今年異動になって、ちょっと出勤するのにも辛くなってたんですけど。で、その見れてない時にすごい皆さんがやってくださって、すごい手伝いが出来なかったんがちょっと申し訳ないなあと思いながら。もうちょっと今結構楽になってきたんでなんかこんなこと誰かできませんかみたいな、具体的に手伝い募集してますみたいな分かりやすくヘルプを求めてくれたら結構こっちもそれだったらいいです。

【委員】

情報発信チームは、メンバーが一番多かったんですよ。少ないチームからするとなんかありがたいことなんですけど、ただやっぱり会議一回作って会議の場でやっぱり進めていくんですけど。そこでやっぱり来れないメンバーもいるんですよ。仕事があって。じゃあ次もう一回やる時にそれまでその人のフォローを僕がしとかなないといけないんですけど、なんかそれやり始めるともうなかなか回ってこないんですよ。だからずっと来てくれた人にどうしても依存しながら一緒にやっていくっていう風にどうしてもならざるを得ないので、その来れなかった人のフォローをなるべくやったつもりなんですけどやっぱりフェイスブックになるとか集まってくれとか自分自身も仕事やってるので、フェイスブックで投げることはできるけど、またどっかの場所に集まってこの場で2時間ぐらい会議しようっていうのは結構ハードルが高かって。やってみて分かったことなので後半からはフェイスブックで何月何日までに集まれる人来てくださいっていうなるべく投げたようにしたんですけど。

【会長】

ていうことはなるべくリーダーとサブリーダーみたいな作って、インフラは整えて。

【委員】

その言っていた通りで、始めにある程度その自分がどういうことが今回だったらモニュメントが完成会っていうゴールに向けて分散作業があるかなっていうのをちゃんと分けておいて、じゃあモニュメント作る部隊は〇〇さんを中心にやってください。ルール決めるのは△△さん中心にやってくださいとか自分が全部の統括やるんじゃないじゃなくて各作業の統括を誰かにやってもらってやり方の方が良かったなど。これだけ大きなU40のメンバーだったら、やった方がいいなと思ったんですけどそれはできませんでした、すみませんでした。だから自分でやるしかないなと思って抱え込んでしまったんですけど。

【市役所U40】

市役所の組織に入ってくるのがストレスだったっていうのは、この市役所の組織の方も平常の仕事があって省エネで行きたいっていうのが本音だと思うんで、プラスアルファの仕事は、うわ来た、みたいな感じに多分なると思うんですよ。職員的には。なんで、そこの多分産業振興課さんが入ってくださって、こういう

メリットがあるんですとか、ここはこういう意味ですとか通訳をしてもらうのは多分大事なことなのかなあと思いました。

【市役所U40】

個人的なまず良かったことからなんですけど。そもそもこの会に入ったのが先ず勉強がしたいっていうのが一番あって、いろんな人のリーダーシップのとり方だとか、事業の進め方とかとても勉強になって良かったなというのと。すごい一つ後悔してるのが、ですねこの7月頭に東京の方に出張2週間行って。情報発信チームにいたんですけどその情報発信チームの一番大事な御披露目の日に行けなかったんですよ。ほんと申し訳なくて行きたかったなっていうのがすごい後悔して。今後またそういう「#upTAK」のモニュメント出すときはぜひ手伝いたいっていうのがすごいありまして。U40としてすごい今年お話聞いただけなんですけど、去年に比べて動いててまたなんでしょうU40だけでじゃないですけど上手く回り始めたっていうのがすごく良かったなと思うんですが、僕みたいなただ勉強しに来ただけな人間がなんか仕事が出来なかったっていうのが後悔があって。人が上手いこと活動が出来るような仕事の割り振りがあったらまたお願いしたいなっていうのとちょっと僕自身も反省してちゃんと武器というかここで出来るようなことをたくさん持ったうえで、来たらよかったなと思って。もしかしたら来年一回続けずに大学院というか、行ってちゃんと勉強したからこういう会に参加したいなという個人的な意見です。もし今後また辞めたとしても、もし仕事で関わられたらまたよろしくお願ひしますという御挨拶で締めたいと思います。ありがとうございました。

【市役所U40】

私は工芸チームで、リーダーに任せてしまっているんで、もっと積極的に関わっていかないといけないなと今思っているところであります。あと私自身が市役の内部の縦割り感というのは正直凄く感じて、他の部署とかところに話に行くのが、中にいるとどうしてもその課の中で完結してしまったり。自分は今伝統的ものづくりの担当をしてるんですけど、その過去の事例とか分かるんですけどどうしても横っていうのは、なかなか知る機会がないので、こういうU40で他の課だったりU40の4つの事業っていう取組をしてるっていうのは、私自身すごい勉強になってるなと思ってます。工芸チームに関して言うと、ちょっと人数が少なく、11月の中旬にイベントするんですけど、土日のワークショップだったり受付だったり、そういうお手伝いとか。あとチラシが出来たら色んなところに配りたいので、そういうのを皆さんのお力でお助けいただいたら助かります。以上です。

【会長】

今日は意見出しだけなんです。いろいろ結論出せないところがあるんですけど、とはいえあともう一回会議はあるんですけど、あとちょっと皆さん触れられてましたけど、まち戦があるわけですよ。これも8月のお盆前ぐらいまでにある程度形作らないといけないんです。一つ、お願いが各リーダーにある。事業終わってないところと言うのも申し訳ないですけど、万が一ですよ、継続をする、となった場合の予算を欲しいなあ。ざっくりでいいです。なぜざっくりでいいか

というと同じほど大規模でやらない。工芸は別かもしれないけども。例えば、パラはこれでどっかの部署に移る。仕事PJもこれ政策課と一緒にやった方が、大事なこと言うところ税金なので効率的に使うと。こっちで200万そっちで150万合わせて350万ではなくて、二つ合わせて280万で同じことできるんじゃないかみたいなことも当然あることなんで。これはもうこっちのU40でやるんでなくて、今回のU40のやったことの知見を政策課に生かしてもらってことを伝えながら政策課に移管するっていうコメントはありだと思う。ただやっぱり情報発信がねあのモニュメントを使って引き続き何かしら、イベントこっちで決めてもいいと思いますよ。高松まつりだとかトライアスロンだとか。イレギュラーなオファーが来た時にとかも想定したときに、運搬費用と人件費とちょっとやっぱりメンテナンスいると思うんですよ。これは作っていただいた所に聞いていただいて、っていうところ。あと保管するところの保管料やね。最低限ね。今そういうところを加味して。いつまでがいいですか。

【事務局】

理想は先ほどまち戦の締めが8月上旬お盆前で、それまでに間に合うのが当然ベストなんですけど、それを越した段階で例えば9月上旬とかですね。今から一月位の間で。

【会長】

いける？僕は思うのは8月の中旬のお盆前に間に合った方が僕はよりいいと思うんですよ。

【事務局】

必要なのは方針。どうしていきたいというか。方向性と上げていただけるのなら額。

【会長】

方向性もいるんやね。

【事務局】

方向性は、はい。

【会長】

工芸ウィークはどういう落としどころになる？来年瀬戸芸もあって。

【事務局】

継続されたいという意向は聞いてますので、仕事は政策課さんの方に落とす。工芸ウィークは産業振興課が持って産業振興課の事業として来年やる。

【会長】

もしくはU40のメンバーで同じようにやってもらって、upTAKのメンバーもあるので、任意団体で受けて。

【事務局】

チームとしてやっていくというもの有ります。

【委員】

むしろ来年度の方が拡大したいので。今年度は、来年度予算をとっていくための布石でしかない。絵はもう描けているので。

【会長】

話がこんがらがるのでこうしましょう。今やっている事業を基本継続をしていく。工芸ウィーク事業の場合はそれを拡大していくだけの話。新しいことは来年度のメンバーで考えたらいいですよ。モニュメント使って新しいことなにかやっていくんならそこはそこで考えて、来年度このぐらいのタイミングで概要作ればいい。そうしないとみんな大変。だから一回整理します。可能な限りお盆の前までに、今の事業を継続をするとした場合の予算をちょっと出してもらいたい。

【事務局】

可能でありますなら8月6日。

【会長】

マップについては、移管しないとしよう。今作ってるマップをブラッシュアップするとか。更新の費用とか。それからプラスアルファの部分は来年考えてユニバーサルデザイン推進室と組む方がいいのかとか。事務局から懸念事項とか。6日中でいいですか。当然そこでまち戦で選ばれる選ばれないとか出てくると思うし。じゃあここで議題（2）のところをいったん止めたい。

【委員】

upTAK のリーダーの方は、終わったらちょっと時間を下さい。経理の話をちょっとしようと思うんで。1点だけお願いがあって仕事PJの方で8月に企画に参加する人を募集しようと思っているんです。皆さんの周りでおられたらぜひお声かけだったり。

【会長】

他に連絡事項がなければ。

【事務局】

いただいた御意見をこちらでも内部で検討しながら、進めてまいりたいと思います。

4 議題（3）その他  
（特に御意見なし）

5 閉会  
（事務局から事務連絡の後、閉会）